

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第601号

平成25年11月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : http://www.saitama-vma.org/
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 三森 信行

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

「狂犬病予防対策に関する講習会」開催のご案内	1
全国獣医師会会長会議開催される —高橋三男会長が常設議長に就任—	2
中国産ジャーキーに起因すると思われる 犬猫の健康被害について(注意喚起)	4
会務報告	
第3回理事会	5
第2回狂犬病予防委員会	6
予告	
テレビ埼玉にて高橋会長新春年頭挨拶	6
西支部学術講習会のお知らせ	7
さいたま支部学術講習会のお知らせ	7
会員の活動報告	
「城下町岩槻鷹狩り行列」に鷹匠として 協力	8
ひろば	
新入会員の抱負	9
平成25年度埼玉県高病原性鳥インフルエンザ 防疫演習開催結果について	9
東支部学術講習会開催報告	10

北支部・八日会合同学術研修会開催報告	11
東支部学術講習会開催報告	11
北支部・八日会ほか畜産関係団体合同学術 研修会開催報告	12

お知らせ

ペット保険金詐欺容疑に係る新聞報道に ついて	12
日本獣医内科学アカデミー第10回記念学術 大会参加者に対する助成金交付につい て	13
平成25年度日本獣医師会獣医学術学会年次 大会(千葉)への参加(事前登録)の推 進について	13
西支部新年会のお知らせ	14

切り抜きニュース

大切な“家族”を守る —ペットと同行避難訓練 越谷—	15
-------------------------------	----

埼玉県獣医師会学術広報版 15

事務局より

事務局メモ	17
-------	----

編集後記 18

広告

original wedding

LAFORÉT
SHIMIZUEN

大宮ラフォーレ清水園

サポート力があなたの想いを叶えます



オフィシャルサイト

<http://www.shimizuen.co.jp>

結婚式・ご宴会

七五三/成人祝い/歓送迎会
忘新年会/暑気払い/会議
講演会/周年記念/各種パーティー
その他慶事/法事などの弔事



〒330-0841

埼玉県さいたま市大宮区東町2-204

TEL:048-643-1234 FAX:048-645-4321

E-Mail: laforet@shimizuen.co.jp

(公社)埼玉県獣医師会

「狂犬病予防対策に関する講習会」開催のご案内

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (6) 小4 (9))

(公社)埼玉県獣医師会会長 高橋 三男
 狂犬病予防委員会委員長 八木 賢裕

狂犬病については、我が国と同じ島国で長年発生しなかった「台湾」で52年振りに再興する等、予断を許さない状況にあり、狂犬病予防法に基づく予防対策の的確な推進については、獣医師会の公益事業として重点的に取り組んでいく必要がある。

そのため、平成26年度に向け、会員獣医師を始め行政関係者等を対象に狂犬病に関する講習会を開催し、対策の円滑な推進と実効確保に努めるものとする。

1 日時 平成25年12月12日 (木)

受付 午後1時15分～
 開会 午後1時45分
 閉会 午後4時30分

2 場所 大宮法科大学院大学 2階講堂

さいたま市大宮区桜木町4-333-13
 (大宮駅西口徒歩5分)

3 内容

(1) 講演

ア 狂犬病の現状と今後の課題

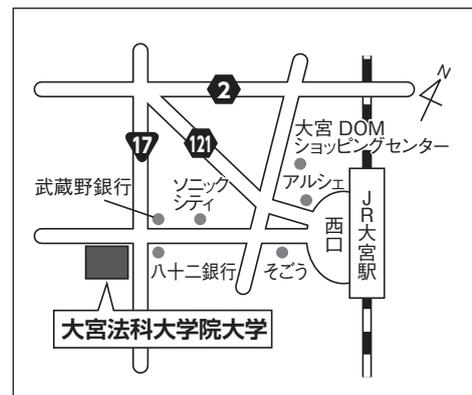
講師 国立感染症研究所獣医科学部室長 井上 智 先生

イ 犬・猫の狂犬病の徴候と臨床診断

講師 狂犬病臨床研究会 会長 佐藤 克 先生

(2) 会長講話

獣医師会や獣医療を巡る情勢と狂犬病予防対策の現況、今後の取組み等
 (公社)埼玉県獣医師会 高橋三男会長



4 対象者

開業獣医師、病院勤務獣医師、県及び市町村行政関係者等 約300名

5 その他

- (1) 集合狂犬病予防注射業務に従事されない先生に於かれましても、講習内容に関心のある方は、積極的にご参加ください。
- (2) 駐車場はございませんので、来場に当たっては、公共交通機関又は近隣の有料駐車場をご利用ください。また、会場内は飲食禁止 (ペットボトル 不可) です。

全国獣医師会会長会議開催される —高橋三男会長が常設議長に就任—

10月25日、東京都港区の明治記念館において開催された平成25年度日本獣医師会全国獣医師会会長会議（以下「全国会長会議」）において、高橋三男埼玉県獣医師会会長が当会議の常設の議長に就任されました。



議長就任の挨拶をする高橋三男会長

左から、藏内勇夫日本獣医師会会長、議長 高橋三男埼玉県獣医師会会長、副議長 三野營治郎三重県獣医師会会長、北村直人日本獣医師政治連盟委員長

全国会長会議は、日本獣医師会を構成する地方獣医師会の会長等が出席して開催されるもので、日本獣医師会の運営に関する協議や連絡、調整が行われます。

この日、午後2時30分から始まった会議では、冒頭に、9月16日に御逝去された元日本獣医師会会長五十嵐幸男先生（第10代会長・現顧問、前埼玉県獣医師会会長）に対して黙祷が捧げられました。続いて、藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶した後に座長として議事を進行し、協議事項として「全国獣医師会会長会議における常設正副議長（仮称）の設置に関する件」を上程いたしました。この議案は、全国会長会議の統括責任者として新たに

常設の議長・副議長を地区理事の互選により設置しようとするもので、審議の結果、この議案は原案のとおり決定いたしました。

座長が、予め行われた地区理事の互選により、議長には日本獣医師会関東地区選出理事の高橋三男埼玉県獣医師会会長が、また、副議長には同近畿地区選出理事の三野營治郎三重県獣医師会会長が選任されている旨を報告し、全員の承認により高橋三男会長が議長に就任いたしました。

今回の議長の常設は、全国会長会議を通じて地方獣医師会の意思統一を図るとともに、日本獣医師会と地方獣医師会との連携・連帯を一層強化しようとするもので、議長は、全国会長会議の意見・提案を日本獣医師会の理事会に反映させる役割を担うこととなります。

高橋会長は、議長就任にあたり「地方獣医師会の強化・充実が、日本獣医師会の発展・向上につながる。日本獣医師会は地方獣医師会の声を受け止め、また、地方獣医師会は日本獣医師会と一体感をもって問題解決に取り組むことが重要であり、私は両者の橋渡しをしっかりとしていきたい。」と挨拶されてから、議事を進行しました。

(※会議の概要については、「日本獣医師会雑誌」2013年12月号に掲載予定)

獣医師会組織が一体となって推進しなければならない課題が山積し、その迅速な対応が求められている折、地区選出理事に続き重責を担うこととなった高橋会長には、埼玉県はもとより全国レベルでの益々の御活躍が期待されています。



日本獣医師会を構成する55地方会会長が意見交換
正面、向かって左が議長の高橋三男会長、右は副議長の三野營治郎三重県獣医師会会長

事 務 連 絡

平成25年11月7日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 矢ヶ崎 忠 夫

中国産ジャーキーに起因すると思われる犬猫の健康被害について (注意喚起)

このことについて、平成25年10月25日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐（愛玩動物用飼料対策班担当）から、ペットフード関係団体等に宛てて、別添のとおり注意喚起の通知をした旨、本会に連絡がありました。貴会関係者にも周知方よろしくお願いたします。

このたびの通知は、2007年以降米国において、主に中国産のペット用ジャーキーに起因すると思われる疾患が発生し、FDA（米国食品医薬品局）の公表情報によると、犬で3,600例、猫で10例の報告があり、そのうち580例が死亡しており、原因究明に努めているものの原因が特定できていないため、飼養者や獣医師に対し、ペットに嘔吐等の症状があれば嘔吐物とともに獣医師に相談すること等呼びかけたことから、国内のペットフード関係団体に中国産の製品について注意を呼びかけたものです。

なお、日本国内でも、米国同様の被害が発生している可能性がありますので、当該症状を呈した犬猫に対して、飼養者に与えた餌等を確認するとともに、健康被害を確認した場合は、平成24年4月2日付け事務連絡（「ペットフードに起因すると考えられる健康被害情報について」）に基づき、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室宛てに情報提供を行うよう、あわせて依頼されております。

※ 別添 略

詳細については、埼玉県獣医師会ホームページをご覧ください。

会務報告**第3回 理事会**

平成25年10月31日(木)午後1時30分から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」203会議室において次の事項を審議した。

1 会長挨拶

平成25年度の諸事業も順調に進展してきているが、獣医師会を取り巻く情勢には、消費税率の引き上げなどの重要な課題もあり、これらの課題への対応にあたっては、今後、慎重に検討して行かねばならない。

2 報告事項**(1) 前理事会後に開催された委員会等の報告**

業務執行理事及び各委員長等から次のとおり報告された。

- ア 第1回狂犬病予防委員会及び班長会議 平成25年度集合狂犬病予防注射実施状況等について(7月10日)
- イ 第1回厚生委員会 ソフトボール大会の開催計画について(8月1日)
- ウ 第2回厚生委員会 ソフトボール大会の運営並びにボーリング大会の開催について(10月14日)
- エ 第2回獣医師調査委員会 転入・新入会員の審査について(10月9日)

(2) 日本獣医師会全国獣医師会会長会議の開催概要の報告

10月25日開催の標記会議に於いて、高橋三男埼玉県獣医師会会長が常設議長に選任されるとともに、狂犬病予防体制整備等、特別委員会の設置が報告された。

3 議決事項**第1号議案 平成25年度転入・新入会員の承認に関する件**

転入・入会申込書(開業支部への転入1名、勤務部会の入会14名)について審議の上、全てを承認した。

第2号議案 集合狂犬病予防注射実施班長の変更承認に関する件

西支部所沢班の班長の変更について審議し、承認された。

第3号議案 平成24年度傷病野生鳥獣治療業務等経費の配分承認に関する件

平成24年度傷病野生鳥獣治療業務及びアライグマ処分業務に係る委託費の指定診療施設ごとの配分額について承認された。

4 協議事項**ア 集合狂犬病予防注射事業の推進に関する件****(ア) 消費税率改正に伴う注射料金に関する件**

今後、消費税率が段階的に引き上げられる中での集合狂犬病予防注射料金の取扱いについて協議。注射料金を巡る社会情勢や市民意識の多様化、更には予防注射接種率の向上等、総合的に勘案する中で、当面、注射料金は現状のまま据置き、必要な財源確保について実施者に協力を求めていく方向で、今後、狂犬病予防委員会等で慎重に検討して行くこととされた。

(イ) 公益社団法人移行に伴う実施要領の一部改正に関する件、並びに、(ウ) 公益社団法人移行に伴う実施契約書の締結に関する件

「社団法人」から「公益社団法人」への移行に伴い、「集合狂犬病予防注射実施要領」及び「集合狂犬病予防注射実施契約書」の名称変更手続きを今後行っていくことが協議された。

イ 平成25年度下半期の行事日程等に関する件

新入会員研修会(11月21日)等の開催日程について協議された。

ウ その他**東日本大震災復興のための募金について**

日本獣医師会が管理する動物救護活動等義援金の最近の動向等を踏まえ、平成24年10月の理事会以降に寄せられた募金116,173円については、今後の災害発生に備え埼玉県獣医師会に保留することとされた。

第2回 狂犬病予防委員会

平成25年11月26日(火)午後1時30分から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」203会議室において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

消費税率引き上げが来年4月に実施されるが、獣医界を取り巻く環境が大きく変化する中、その対応には各地方会とも苦慮している状況にある。

今後、注射料金の設定に当たっては、市町村長や市民の考えも参酌する必要があるので、本日、この点も踏まえ十分に協議願いたい。

また、狂犬病については、台湾での再興等、予断を許さない状況にあるので、獣医師として必要な知識習得に広く努めてもらいたい。

2 協議事項

(1) 「狂犬病予防対策に関する講習会」の開催について

「狂犬病予防対策に関する講習会」を平成25年12月12日(木)開催するとともに、その内容及び開催当日の進め方等について協議。

講習会は、二部制とし、一部の「講演」は会員獣医師の生涯研修としても位置付け、勤務部会員や行政関係者等にも広く呼びかけて開催、二部については開業会員を対象とした会長の「講話」とすることが決定された。

(2) 消費税率改正に伴う注射料金について

理事会に於ける協議結果等を基に、消費税率の段階的引き上げの下での今後の集合狂犬病予防注射料金について協議。

基本的には、消費税率に連動し、注射料金についても引き上げるべきではあるが、獣医界を取り巻く昨今の社会情勢や市民意識の多様化の中で安易な引き上げは、獣医師会や獣医療に対する不信感の高まり等も懸念される。

そのため、将来的には料金引き上げも含め検討しつつも、当面は現状のまま据え置くことにより、埼玉県獣医師会の行う集合狂犬病予防注射に対する理解と公益団体としての会の存在を強く示すことが、適切・肝要であるとされた。

なお、消費税率の引き上げに伴う狂犬病事業の税負担の増加に対応し、その財源確保のため、集合狂犬病予防注射の実施者に特段の理解と協力を求めていくことが決定された。

(3) 平成26年度埼玉県獣医師会集合狂犬病予防注射実施スケジュール(案)について

平成26年度集合注射の実施に向け、実施者との契約締結や委員会の開催日程、また、公益社団法人移行に伴う実施要領の改正や市町村との契約締結等、必要な事務手続きについて協議した。

予 告

—— テレビ埼玉で放映 ——

高橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…平成26年1月2日(木)

午前11時55分～12時00分

テレビ埼玉



西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (4))

西支部長 三森 信行

西支部では12月15日(日)に麻布大学の川村祐子先生をお招きし、猫に特定して化学療法の講習を行います。お忙しいところと思われますが、多数の先生方のご参加をお待ちいたします。

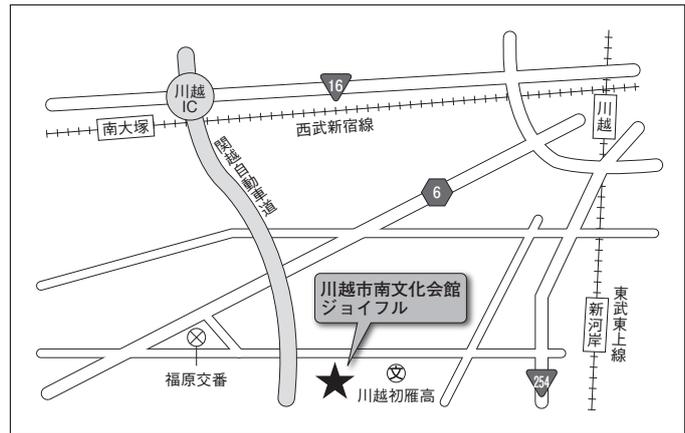
日 時 平成25年12月15日(日)
13:30~16:30 (13:00受付開始)

場 所 川越市南文化会館 ジョイフル
川越市大字今福1295-2
TEL049-248-4115

演 題 「猫の腫瘍の化学療法」

講 師 麻布大学 川村裕子 先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (2))

さいたま市支部長 新井 宣明

さいたま市支部では、平成26年1月13日(月・祝)に日本大学の枝村一弥先生をお招きして「リハビリテーションってどうなの? ~何をどのようにして行うか最新知見を交えて~」と題して講習を行います。

多くの先生方のご参加をお待ちいたします。

日 時 平成26年1月13日(月・祝) 13:30~16:30

場 所 With You さいたま
さいたま市中央区新都心2-2
TEL048-601-3111

演 題 「リハビリテーションってどうなの?
~何をどのようにして行うか最新知見を交えて~」

講 師 日本大学 枝村一弥 先生

参加費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



会員の活動報告

「城下町岩槻鷹狩り行列」に鷹匠として協力

11月3日（日）、さいたま市区制10周年記念事業として、「城下町岩槻鷹狩り行列（実行委員長 高橋三男 さいたま商工会議所副会頭 埼玉県獣医師会会長）」が、秋晴れの空の下、盛大に開催され、本会会員の大橋邦啓先生（北支部）と綾部杏子先生（団体支部）も主役の鷹匠として参加し祭りを盛り上げました。

江戸時代、岩槻は、歴代将軍のお狩り場であったことから、徳川家康公は城下町岩槻の地をこよなく愛し幾度となく鷹狩りに訪れ、その折、城主は、城の入り口、「加倉口御門外」で将軍の行列をお迎えし、町を挙げて盛大に歓待していたとの史実が残されています。

当時、将軍の鷹狩りは単なる娯楽ではなく、鷹狩りを通じて世情に直接触れ、世を治める手段としての制度であったとも言われていますが、今回、初めて行われた「城下町岩槻鷹狩り行列」は、その歴史の1ページを忠実に再現し、馬に乗る将軍、家康公が鷹匠を始め、徒侍や若年寄、側衆、駕籠かつぎ等の家来を伴い岩槻城下に入る「鷹狩り行列」と、それを迎える藩主、高力忠房（こうりきただふさ）公と姫君や腰元、徒侍、侍女等の「岩槻藩行列」、それぞれ70名ほどが当時の衣装を身に着け、「日光御成道」約1キロを練り歩きました。



「鷹狩り行列」を先導する実行委員長の高橋三男会長
（後方は馬に乗る将軍、家康公）

この度、鷹匠として参加された大橋邦啓先生の主宰する「放鷹義塾」は、毎年、関東地方を始め、全国各地に於いて、1,600年以上の歴史を有する放鷹技術を披露、普及するほか、日本獣医師会主催「動物感謝デー」にも参加される等、放鷹文化の伝承活動に努めており、今後ともその活躍が期待されます。

行列の主役となる鷹匠には、大橋邦啓先生が主宰する「放鷹義塾」のメンバー10名が参加され、羽を大きく広げて空中高く飛ぶ放鷹技術を披露されました。

また、行列に参加した、将軍や城主、姫君を始め、腰元、徒侍、若年寄り、側衆、籠かつぎ等は全て市民等からの公募で選ばれ、また、さいたま市消防音楽隊のパレードや侍女の薙刀演武、更には地元岩槻黒奴保存会による奴振り、市民参加の鷹匠体験などのパフォーマンスも行われ、観光客を魅了させました。



鷹匠として参加した、大橋邦啓先生（北支部）と綾部杏子先生（団体支部）

新入会員の抱負

埼玉県獣医師会に入会して

東支部 川村 葉三
(みつば動物病院)



開業時に院内にて
右は団体会員の川村明美先生(奥様)

本年度より埼玉県獣医師会に入会させて頂きました、川村葉三と申します。

2004年に北里大学を卒業し、都内と埼玉県内での勤務医、研修医を経て2013年2月に羽生市で開業させて頂きました。

私の出身は茨城県かすみがうら市です。幼少より犬猫などを飼い、また動物が好きでしたので自然と獣医師を志すようになりました。

大学時代は主に大動物診療に携わり、また野生動物の仕事にも興味を持ちました。しかし就職にあたっては、自身の原点である身近な動物を幸せにする小動物臨床の世界に身を投じました。

家内が埼玉県出身だったこともあり、その地元である羽生市で開業させて頂いた次第です。

獣医師会に入会して特に良かったなと感じている事は、ソフトボールの練習を諸先生方と一緒に出来たことです。高橋会長をはじめ東支部の先生方に楽しく練習できる環境を用意して頂き、本当に感謝しております。獣医師という職に囚われず共に身体を動かすことで、信頼関係や連帯感が強くなることを感じました。

来年は東支部として優勝できる様に、しっかり身体を作っていきたいと思います。また埼玉県獣医師会の会員として恥ずかしくないように勉強を続け、先生方との親交を深めてゆければと考えております。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願いします。

平成25年度埼玉県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習開催結果について

埼玉県農林部畜産安全課

高病原性鳥インフルエンザ（以下、HPAIという）の発生を想定した防疫演習を開催しました。

今年度は、机上演習会場と実地演習会場をバスで移動、また、生きた鶏を使用し、より臨場感のある演習効果が得られました。

1 開催日時

平成25年11月13日（水） 10～16時

2 場所

(1) 机上演習

深谷市花園文化会館アドニス（大ホール）

(2) 実地演習

深谷市花園文化会館アドニス（集会室）

J A全農さいたま北部総合センター（駐車場）

3 内容

(1) 机上演習（生産者を対象）

HPAIの発生状況や症状の特徴、異常発見から防疫措置の終了



机上演習(スライド解説)



保健所医幹(医師)による問診

まで一連の流れと、発生農場への支援対策についてスライドを用い解説。

(2) 実地演習（防疫作業従事者を対象）

保健所（医師、保健師）による健康診断と防疫服の装着・脱着について演習。

防疫服着用のままバスにて、清浄区域と汚染区域を再現した会場に移動し、模擬鶏舎内ケージから生きた鶏を取り出し、模擬と殺を演習。



防護服着脱演習

4 参加者

142人

内訳

生産者25人、市町村24人、獣医師4人、関係団体・民間11人、
関東農政局4人、他県14人、県60人



ケージから鶏の取り出し

東支部学術講習会開催報告

東支部支部長 八木 賢裕

10月13日越谷サンシティにおいて日本大学獣医外科学研究室 枝村一弥先生をお招きし、あなたは運動器疾患をどこまで診断できますか？～苦手克服!! 診断精度を上げるためのスキルアップ講座～と題して学術講習会を開催いたしました。

神経学的疾患、整形外科疾患の視診、歩行検査、触診のコツを実症例とからめながらご講演いただきました。歩行異常症例の診断手順では問診事項、視診、姿勢の観察、歩行検査に関して、前肢ならびに後肢の代表的疾患の説明をしていただきました。さらに、診断手順のポイントについて動画を交えながら解説していただきました。

今回の講習会では、単純 X 線検査読影のポイント、神経疾患、整形外科疾患や腫瘍性疾患との鑑別法も含んでいるので、特別な装置を用いることなく、いずれの病院でも行うことができる日常テクニックを教えてください、大変有意義な講習会となりました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
66名	6名	5名	0名	4名	0名	34名	14名	3名

北支部・八日会合同学術研修会開催報告

北支部長 大橋 邦啓
八日会会長 湯本 哲夫

北支部・八日会合同学術研修会を、熊谷市「熊谷文化創造館 さくらめいと」にて10月20日(日)に開催いたしました。今回は、酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 伴侶動物医療分野 山下和人先生をお招きし、「より安全で痛みのない獣医療を目指して 犬猫の心肺蘇生ガイドライン～RECOVER～」というテーマでご講演と実技指導をしていただきました。

山下和人先生には短い時間内に盛りだくさんの講演依頼で、ご無理・ご迷惑をおかけいたしました。ご参加いただきました先生方にとっては、たいへん有意義な研修会となったものと思います。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
34名	1名	1名	0名	4名	19名	0名	4名	5名

東支部学術講習会開催報告

東支部支部長 八木 賢裕

11月3日春日部市商工振興センター(アクシス春日部)において学術講習会を開催いたしました。講師には、「犬と猫の皮膚科」の村山信雄先生をお招きし、「皮膚病が治らない! どうしたら治るか考えてみよう」と題しご講演していただきました。犬の膿皮症、アトピー性皮膚炎そしてマラセチア性皮膚炎について、病態や背景を解りやすく説明していただきました。その中で治まるものと治まらないものの説明、動物や飼い主に対するケアの仕方や治療方法まで、症例をまじえて基礎から教えていただきました。

今回の講習会で飼い主に対しての接し方やスキンケアを含めた治療方法、患者に負担のない方法として大変参考になったのではないのでしょうか。

東支部では、会員の皆様に役立つような講習会を計画したいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
56名	7名	3名	0名	2名	1名	32名	10名	1名

北支部・八日会ほか畜産関係団体合同学術研修会開催報告

埼玉県獣医師会北支部長 大橋 邦啓
 埼玉県八日会長 湯本 哲夫
 関東しゃくなげ会埼玉県支部長 柿沼 清市
 埼玉県畜産技術振興会会長 中村 陽二

北支部・八日会・しゃくなげ会埼玉県支部・畜産技術振興会では、11月8日(金)に北海道大学大学院獣医学研究科 動物疾病制御学講座 感染症学教室 准教授 今内覚先生をお招きし、関東しゃくなげ会埼玉県支部、および埼玉県畜産技術振興会と合同研修会を開催しました。

今内先生には、昨年に続いて「牛白血病ウイルス(BLV)感染症の現状と対策」と題し、ご講演いただきました。今回は、獣医師だけでなく農場関係者も交えて、感染拡大防止に対する取り組み方について具体的な事例を挙げながら、農場関係者の方々にも分かりやすくご説明いただきました。前回同様BLV感染が抱える諸問題について活発な討議がなされ、大変有意義な研修会を開催することが出来ました。

多数の先生方のご参加有難うございました。

<参加者内訳>

出席者	北支部	農林支部	関係団体等
50名	11名	6名	33名

お知らせ

ペット保険金詐欺容疑に係る新聞報道について

ペット保険金に係る詐欺容疑で、滋賀県の動物病院院長が逮捕されたとの新聞報道が平成25年11月20日(水)ありました。

現時点では未だ詳細は不明ですが、事の重要性に鑑み、緊急に会報にてお知らせします。

平成25年11月20日 産経新聞(朝刊)

ペット保険金詐欺取扱い 全国初
滋賀県警 動物病院院長逮捕へ

飼い主と共謀してペット保険の保険金をだまし取った疑いが強まったとして、滋賀県警は19日、詐欺容疑で、県内の動物病院院長(46)の逮捕状を取った。イヌがケガをしていることを隠して保険に入らせた上で、虚偽の診療明細書を提出して保険会社から保険金を受け取る手口。近く院長を取り調べ、容疑が固まれば逮捕する。県警によると、ペット保険をめぐる詐欺事件の摘発は全国初。

逮捕状の容疑は、平成23年4月、経営する病院で脚を脱臼したイヌを診察。飼い主にペット保険に加入させたうえで、脱臼時期を、保険有効日の翌日とする虚偽の内容の明細書を交付。飼い主に申請させ、保険会社から約30万円の保険金をだまし取った疑いが持たれている。県警は昨年12月、保険会社から告訴を受け捜査。院長をめぐっては、ほかにも類似した不審な保険金受給が約10件あるという。

平成25年11月20日 日本経済新聞(夕刊)

ペット保険金詐欺容疑で逮捕
 滋賀の病院院長

診察した犬の虚偽の診療明細書を使い、保険会社から約30万円をだまし取ったとして、滋賀県警草津署は20日、詐欺容疑で、「クラーク動物病院」院長、奥村滋容疑者(46)と草津市新浜町IIを逮捕した。ペット保険に関する詐欺事件での摘発は全国初とみられる。

逮捕容疑は2011年4月、前脚を脱臼した犬を診察。飼い主には、脱臼を保険会社に隠してペット保険に加入させた。その上で、虚偽の診療明細書を保険会社に提出し、翌月に約30万円の振り込みを受け、だまし取った疑い。

同署によると、これまでの任意の取り調べに「ほかの医師がやったことではないか」と話し、逮捕後も否認を続けている。

草津署は昨年12月、支払額が急増したことを不審に思った保険会社から告訴を受け、捜査を始めた。同様の事例が複数あり、同署は診療記録などを調べている。

日本獣医内科学アカデミー第10回記念学術大会参加者 に対する助成金交付について

横浜市内において開催される標記学術大会について、本会では会員の獣医学術の研鑽向上のため貴重な機会であることから、平成25年度予算において開業支部会員を対象に「参加登録費」の一部助成金交付を措置しております。

つきましては、助成金交付を希望される先生は下記により事務手続きをお願いします。

1 第10回記念学術大会

- (1) 開催月日 平成26年2月7日(金)～9日(日)
 (2) 会場 「パシフィコ横浜」 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
 (3) 主催 日本獣医内科学アカデミー (JCVIM)
 (4) 参加登録費(抄録込)
- | | 事前登録 | 当日登録 |
|---------------|---------|---------|
| 主催及び共催団体の会員 | 20,000円 | 28,000円 |
| 非会員 | 23,000円 | 31,000円 |
| 1日参加者(会員・非会員) | 13,000円 | 18,000円 |

(注) 埼玉県獣医師会の会員については、開業、勤務を問わず、「共催団体の会員」扱いとなりますので、参加登録に当たってはご注意ください。

- (5) 事前参加登録締切 平成26年1月10日(金)

2 助成金額 1人当たり 5,000円 (開業支部会員に限る。)

3 助成金交付事務手続き

「参加登録費」の支払いを証する書面(下記の何れか)の写しを埼玉県獣医師会事務局まで提出して下さい。

- ・「振替払込請求書兼受領証」
- ・「登録費領収書」
- ・「参加確認証(E-mail)」

提出期限 平成26年3月7日(金)まで(必着)

25日 獣発 第234号
平成25年11月27日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印省略)

平成25年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(千葉) への参加(事前登録)の推進について

晩秋の候、貴台におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、既にご案内のとおり、平成25年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(千葉)は、平成26年2月21日(金)から23日(日)までの3日間、千葉市の「幕張メッセ」及び「アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>」において、農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、日本学術会議はじめ、地元千葉県、千葉市の後援を得て千葉県獣医師会との共催で開催することとしております。

本大会では、科学研究費補助金を得て開催する市民公開シンポジウム「被災地における被災動物救護

活動のあゆみと今後の展望」をはじめとして、狂犬病対策を考える市民公開シンポジウム、水族館の話題を取り上げた市民公開講座「プロに聞く、水族館の裏話」、眼科と整形外科の実習や海外講演者を招聘した特別シンポジウム、人と動物の共通感染症対策、食品の安全性対策に関する企画、そのほか獣医学及び動物医療が関係する特別講演やシンポジウム等々、数多くのプログラムを企画しております。

つきましては、地方獣医師会会員及び役職員はもとより、その他関係者皆様方の奮ってのご参加（事前登録）の推進について、特段のご尽力ご指導を賜わりたくお願い申し上げます。

なお、事前登録期限等は以下のとおりですので、お早めをお願いします。

区 分		参加登録料 (講演要旨集1冊含)	歓迎交流会参加費	合 計 (消費税を含む)
会 員	事前登録 (平成26年1月3日まで)	10,000円	6,000円	16,000円
	当日登録	14,000円	8,000円	22,000円
学生会員	事前登録・当日登録とも	0円	4,000円	4,000円
学 生 動物看護師	事前登録・当日登録とも	4,000円	4,000円	8,000円
その他の方	事前登録・当日登録とも	17,000円	10,000円	27,000円

【申込方法】学会年次大会ホームページ（<http://jvma2014.umin.jp>）から「参加登録」に入りインターネット経由でお申し込みください。

＜お問い合わせ先＞ 公益社団法人千葉県獣医師会 TEL:043-232-6980 E-mail:info@cpvma.com

西支部新年会のお知らせ

西支部長 三森 信行

西支部エリア（比企郡、入間郡、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、川越市、富士見市、ふじみ野市、狭山市、入間市、所沢市）にお住まい又はお勤めの会員の皆様へ、恒例の西支部新年会のお知らせをいたします。

日頃お会いする機会の少ない衛生支部、農林支部、団体支部の先生方にもお気軽にご参加いただき、会員相互の交流、親睦を深める良い機会になれば幸いです。

今回は、ボサノバのプロミュージシャンをお迎えして本格的なラテン音楽をお楽しみ頂きたいと存じます。おいしい食事と心地よいボサノバのライブで、優雅な大人のひとときを過ごしませんか。多数のご参加をお待ちしております。

日時、場所は下記の通りです。参加希望の方は1月15日(水)までにFAXでお申し込みください。

記

日 時 平成26年1月19日(日) 19時00分
受付 18時30分より
場 所 川越プリンスホテル
川越市新富町1-22
TEL049-227-1111
会 費 10,000円

お問い合わせ・お申し込み 西支部新年会実行委員会 別部博司
TEL/FAX04-2948-1199



切り抜きニュース

大切な“家族”を守る ペットと同行避難訓練 越谷

災害発生時に備えようと、越谷市東越谷10丁目自治会（江原利男会長）は、ペット同行の防災訓練を実施した。（岩波里枝）

ケージの必要性 指摘も

ペット同行の訓練は県内でも珍しく、同会で彩の国動物愛護推進員の三藤恵子さん（64）は「飼っていない人たちにとって、ペットはうるさく感じるし、臭いもする。訓練で飼っていない人たちにとっても理解してほしい」と訓練の狙いを話す。

同訓練は2005年にスタートし、1年おきに実施。ペット同行訓練は5回ほど行っているという。訓練には町内から老若男女約110人が参加。午前10時ごろには避難場所の公園に10頭近くの犬も避難した。

訓練冒頭で江原会長は「訓練で横の連携を深める必要がある。最低限のつながりを持ってほしい」とあいさつした。

訓練では炊き出しなどを実施。ペットは身元確認をした後、ケージ（収容設備）の中に入れて、訓練が終

わるまで保護した。

参加した公務員の古垣吏一さん（52）は「災害時にはペットを連れて行きたいのが心情。初めて参加したが、心積もりができる」と、飼い犬の柴犬をケージから出して帰宅した。

9月2日、越谷市内の一部で竜巻の被害が出た際、市獣医師会は被災者のペットを10頭ほど保護したという。

同獣医師会の石井邦彦獣医師（45）は「避難で課題になるのは室内犬。室内犬を外で飼うのは抵抗がある」と指摘。「どの自治体もケージは必要数備えていない。税金でケージを備えるのも、大規模災害時に動物病院で全てのペットを預かるのも困難。理解を深めて、環境を整える必要がある」と、準備の必要性を説明した。



ペットをケージの中に入れて保護した避難訓練＝越谷市東越谷
埼玉新聞 10月20日

平成25年度埼玉県獣医師会学術広報版

（平成25年11月20日現在）

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
5月19日(日)		南第一支部・南第二支部 「僧帽弁閉鎖不全症の内科治療の限界と外科治療の可能性」 日本大学 上地正美 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
6月15日(土) ～16日(日)	第86回獣医麻酔外科学会／第98回日本獣医循環器学会／第53回日本獣医画像診断学会 2013春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
8月25日(日)		北支部・八日会 「より安全で痛みのない獣医療を目指して伴侶動物の麻酔モニタリングと麻酔中の呼吸循環系異常に対する対応」 酪農学園大学 山下和人 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	
9月8日(日)	平成25年度 関東・東京合同地区獣医師大会（群馬）獣医学術関東・東京合同地区学会 (群馬県渋川市 ホテル木暮)		
9月15日(日)		東支部 「明日からの眼科診療に役立つシリーズ 犬種別眼科疾患：プードル・ヨークシャテリア」 どうぶつ眼科eye vet 小林一郎 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月13日(日)		東支部 「あなたは運動器疾患をどこまで診断できますか？」 日本大学 枝村一弥 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
10月20日(日)		北支部・八日会 「より安全で痛みのない獣医療を目指して 犬猫の心肺蘇生ガイドライン～RECOVER～」 酪農学園大学 山下和人 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	
11月3日(日・祝)		東支部 「皮膚病が治らない! どうしたら治るか考えてみよう」 アジア獣医皮膚科専門医 村山信雄 先生 (春日部市 春日部市商工振興センター アクシス春日部)	
11月8日(金)	北支部・八日会ほか畜産関係団体 「牛白血病ウイルス (BLV) 感染症の現状と対策」 北海道大学 今内覚 先生 (本庄市 早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター)		
11月17日(日)		南第一支部・南第二支部 「よくある細胞診の見方と考え方」 日本獣医生命科学大学 皆上大吾 先生 (さいたま市 さいたま共済会館)	
11月24日(日)		さいたま市支部 「犬の慢性肝炎の診断と治療」 日本大学 坂井学 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
11月24日(日)		西支部 「眼科疾患における点眼薬の使い方」 くにたち動物病院 遠藤雅則 先生 (川越市 南文化会館)	
12月1日(日)		北支部・八日会 「ふらつきや背部痛のある動物を、どう診断し、どう治療するか?」 日本大学 枝村一弥 先生 (本庄市 本庄市児玉文化会館セルディ)	
12月12日(木)			「狂犬病予防対策に関する講習会」 国立感染症研究所獣医科学部長 井上智 先生 狂犬病臨床研究会会長 佐藤克 先生 (さいたま市 大宮法科大学院大学)
12月15日(日)		西支部 「猫の腫瘍の化学療法」 麻布大学 川村裕子 先生 (川越市 南文化会館)	
12月20日(金)	農林支部 平成25年度 埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成26年 1月13日(月・祝)		さいたま市支部 「リハビリテーションってどうなの? ~何をどのようにして行うか最新知見を交えて~」 日本大学 枝村一弥 先生 (さいたま市 With You さいたま)	
2月21日(金) ~23日(日)	平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (千葉) (千葉市 幕張メッセ (国際会議場))		
2月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会(7日) (さいたま市 大宮ソニックシティ)		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月23日(日)		西支部 「糖尿病診断と治療のアップデート」 東京大学 松木直章 先生 (川越市 南文化会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vmc.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| 10月20日 | 北支部・八日会合同学術研修会（熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと） | 12月8日 | 政令指定都市及び東京都獣医師会連絡協議会（さいたま市 プリランテ武蔵野） |
| 10月21日 | 動物感謝デー企画検討委員会（東京都港区 日本獣医師会） | 12月9日 | 日本獣医内科アカデミー関係学術懇談会（さいたま市 大宮ラフォーレ清水園） |
| 10月25日 | 平成25年度全国獣医師会会長会議（東京都港区 明治記念館） | 12月11日 | テレビ埼玉「彩の国新春年頭挨拶」収録（浦和ロイヤルパインズホテル） |
| 10月31日 | 第3回理事会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 12月12日 | 狂犬病予防対策に関する講習会（さいたま市 大宮法科大学院大学） |
| 11月3日 | 東支部学術講習会（春日部市 春日部市商工振興センターアクシス春日部） | 12月15日 | 西支部学術講習会（川越市 南文化会館） |
| 11月8日 | 北支部・八日会ほか畜産関係団体合同学術研修会（本庄市 早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター） | 12月18日 | 第4回理事会（さいたま市 岩槻区役所会議室） |
| 11月13日 | 平成25年度埼玉県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習（深谷市 深谷市花園文化会館アドニス ほか） | 12月20日 | 平成25年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会（さいたま市 埼玉会館） |
| 11月17日 | 第37回全国育樹祭（熊谷市 彩の国くまがやドーム） | 平成26年 | |
| 11月17日 | 南第一支部・南第二支部合同学術講習会（さいたま市 さいたま共済会館） | 1月13日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 With Youさいたま） |
| 11月20日 | 公益社団法人日本獣医師会会長 藏内勇夫氏を激励する会（東京都港区 明治記念館） | 2月7日 | 日本獣医内科学アカデミー第10回記念～9日 学術大会（神奈川県横浜市 パシフィコ横浜） |
| 11月21日 | 平成25年度新入会員研修会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 2月11日 | 埼玉県獣医師会主催ボウリング大会（さいたま市 スポーツ浦和国际ボウル） |
| 11月22日 | 第57回埼玉県公衆衛生大会（さいたま市 さいたま共済会館） | 2月21日 | 平成25年度日本獣医師会獣医学術年次～23日 大会（千葉）（千葉県千葉市 幕張メッセ、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張） |
| 11月24日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 With Youさいたま） | 3月6日 | 平成25年度関東・東京合同地区獣医師会連合会第3回理事会（群馬県高崎市 ホテルメトロポリタン高崎） |
| 11月24日 | 西支部学術講習会（川越市 南文化会館） | 3月23日 | 西支部学術講習会（川越市 南文化会館） |
| 11月26日 | 第2回狂犬病予防委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | | |
| 12月1日 | 北支部・八日会合同学術研修会（本庄市 本庄市児玉文化会館セルディ） | | |

編集後記

もう師走だ。今年の秋は急に来たので木の葉の色が鮮明だ。あんなに暑くて台風、竜巻、大雨の被害、そして今度はフィリピンで高潮による大災害だ、自衛隊等が救援に行った。福島で被災された方々には、まだまだそれどころではないだろうが、様々な所でフィリピン大災害への支援の募金を募っている。3.11の海外から支援された時の暖かい気持ちを忘れずに出来るだけの恩返しをしなければいけない。

フィリピンの被災と聞くと、加須市に避難している双葉町が、三回目を迎える正月を前に、東日本大震災後唯一残った避難所を閉鎖するそうだ。

始めの頃の避難者数は1400人超だったが、8月には105名で、残りは20名余りになったそうだ。震災前には、町議で小動物診療獣医師であった双葉町の井沢史朗さんが、加須市に避難されたが、三月の選挙で双葉町長に当選したが、町議会の議決を受け10月には役場機能も完全撤収するそうだ。町から住宅の斡旋をされたり、個人で何とか住み家を見つけた方もいるが、三年弱暮らした避難所の旧騎西高校を名残惜しみながら去られると言う、早く安心して住める永住の地を見つけて戴きたい。

最近辛いニュースばかりだったが、ホッとするニュースがある。小笠原諸島の海に噴火で新しい島が出来た、消えそうもないと言うが、日本国内で自然に増えた島である。尖閣や、竹島のように他国との騒動にはならないし、画像で見てもこんな大きな島を海底から2~3日で削ってしまう、どんなに凄まじいコンでも無理だろう。大自然の力は本当に凄い。ドンドン大きくなってそのまま残って欲しいものである。

また一方、日本食がユネスコの文化遺産になると決まった途端に、一流のホテルやレストラン、大手のデパート、スーパーまでが表示違反や偽装をやっている、正直な店があるのだろうか？とまで考えてしまう。普通に取れた食品なのに、口に合うか合わないかは別にして、希少価値だからこそ高価なのだ、そんなに沢山あるはずがない。ご近所の国の批判などしてられない。

福島原発事件での東電から始まり、JR東日本や前述の大きい企業やお店はこんなにまで嘘をついても良いのか？大きいからこそ社会に対する責任はより重いはずである。

12月20日に明治記念館で蔵内勇夫日本獣医師会会長を励ます会が盛大に開催された。本会でも会長をはじめ多くの理事さん達に参加を戴いたが、麻生太郎副総理や石破茂自民党幹事長、高市早苗政調会長、林芳正農水大臣等など、テレビに出てくる数多くの国会議員が70名以上出席されたが、獣医界始まって以来の素晴らしい会であった。

蔵内会長が現職の県議会議員の事もあって今までとはまた違った、政治も絡めて、尚一層、人と動物の健康の増進を通じて国民生活の向上に貢献出来る内容のある獣医師会を目指して欲しい。

また、この会に先立ち、日本医師会横倉義武会長と獣医師会蔵内勇夫会長との間で双方の学術協力の推進に関する協定書の調印が交わされた。

調印後の記者会見で、日本獣医師会の小森貴常任理事は記者からの「なぜ今協定書を？」との質問に、鳥インフルエンザに限らず今後ますます動物由来感染症の発生が心配される、またウイルスの変異も考えられる。今回、台湾で狂犬病が発生したが、獣医師は狂犬病を良く知っているが医師の認識は薄い。大変恐ろしい事で、万が一の場合を想定して、今後医師にも狂犬病や他の動物由来感染症の情報を獣医師の皆さんと共に共有していかなければならない。と言われた。

12月12日に狂犬病予防対策に関する講習会を大宮の法科大学院（昨年と同じ会場）で開催します。講師は以前にも講習いただいた国立感染症研究所の井上智先生と狂犬病臨床研究所で開業獣医師の佐藤克先生にお願いする事になりました。

11月22日に日本獣医師会の狂犬病予防体制整備特別委員会に参加し井上先生に伺ってきましたが、台湾での発生は11月6日付けの発表ではイタチアナグマ215頭、ジャコウネズミ1頭、犬1頭で犬はイタチアナグマに咬まれての発症と思われるとの事でした。イタチアナグマは海拔100m以上に生息していて、35~40cm位のおとなしい雑食の野生動物だそうですが、狂犬病に感染すると咬むそうです。詳細は当日、先生からお聞き下さい。島国で清浄国であるはずですが、どの様にして発生したかを話して戴く予定です。

先生方は三年前から台湾と共同で感染症の研究をしており、台湾でのイタチアナグマや犬の発症例を元に、映像でしか見ていない殆どの臨床獣医師に狂犬病をどの様に診断するか？その診断法も含めてお話し戴く予定です。我々は“もし狂犬病が発生したら”と言う演習は（BSEや口蹄疫では行っているが）残念ながら無い。もしも、日本で発生したらを想定してシミュレーションをしていくとの事で、埼玉県会員の皆さんにも知って戴き、今後協力をお願い出来ないか？との事でした。

非常に興味ある講習会になりそうです。狂犬病予防注射実施者はもとより、狂犬病に携わる多くの会員、勤務獣医師、県や市町村の職員の方達も含めて多くの関係者にお声かけしております。

予那国島は石垣島より台湾の方が近い、他人事ではありません、是非聴講して戴くようお願いいたします。

(不動)



コスモ理研株式会社

感染性廃棄物・廃試薬・有害産業廃棄物の処理のパイオニア

産廃エキスパート・専門性適合
エコアクション21認証・登録
東京都臨床検査技師会指定業者

地球環境への道しるべ "あんしん"への道

30余年の経験と実績

試薬 実験廃液
ホルマリン
アルコール
医療器具・劇薬物品等

学 校
研究施設

病 院
医療施設

感染性廃棄物
注射針・メス・検査キット
実験動物・組織等
医療廃棄物全般

残った消毒液
パソコン
汚泥
期限切れ防災用品等

役 所

検査機関

各種廃液
有機・無機・重金属・
砒素・シアン・クロム
水銀化合物等
医薬品、実験器具

処理困難物(内容不明な廃液・試薬)水銀含有物、レセプト、医療機器等々、
その他処分にお困りのものがございましたら、先ずはお気軽にお問い合わせ下さい。



これらの廃棄物は、
㈱クレハ環境、
野村興産㈱、
東京臨海リサイクル㈱*ワ-㈱
群馬環境リサイクルセンター㈱
シンシア㈱、
都築鋼産㈱等で
処分を行っています。

本 社:〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-34-7 TEL 03-5820-1229 FAX 03-5687-6030



コスモフレッシュ

安定化二酸化塩素水溶液
二酸化塩素ゲル

最先端化学技術
から生まれた
空間除臭・除菌剤

接触感染防止
塩素の3倍
飛沫感染防止
塩素の2.6倍

コスモフレッシュの効果
二酸化塩素徐放技術によって、
単なる消臭剤や芳香剤には不可能な
【除菌】【消臭】【分解】
の3つの効果で
空間全体を衛生的な状態に保ちます

除菌 消臭

製品ラインナップ

防カビ

ウイルス
除去

安定化二酸化塩素液
対象物に直接吹きかけて使用する
特徴は強力な消臭効果

二酸化塩素ゲル(専用ファン付)
空間に二酸化塩素を発生させる
特徴は強力な除菌効果

細菌やカビ臭いの元に
直接作用して分解除去

動物の気になる
臭いにも絶大な
効果を発揮します



製品に関する
お問い合わせは
コスモ理研様まで

本 社	業務本 部	埼玉県越谷市恩間新田70-3	TEL 048-979-6381
東 支 社	茨城県水戸市内原町1467-17	TEL 029-259-2951	
京 支 社	千葉県八千代市妻丸1077-1	TEL 047-458-4057	
埼 支 社	埼玉県越谷市恩間新田70-3	TEL 048-978-2621	
神 支 社	神奈川県川崎市多摩区長尾7-17-13	TEL 044-866-4506	
群 支 社	群馬県太田市丸山町1334	TEL 0276-36-1888	

広告

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

代表取締役 高野恵一

URL : www.zenoaq.jp

広告

動物病院・ペットショップなどのペット環境および施設の衛生管理にー ペットクリーンナビ

PET CLEAN NAVI

M MORIKUBO



消臭・除菌
ウイルス除去

二酸化塩素水

安心のペット環境づくりに。
同梱のタブレットを溶解してご使用ください。

電解アルカリイオン水

洗浄・除菌

ペットと環境に優しいのに驚きの洗浄力！
二度拭きいらずの洗浄・除菌水。



スプレー各1本入りの
お得なセット



【容量】各 100 mL

M 森久保薬品株式会社 神奈川県厚木市栄町 1-8-17
TEL : 046-222-2333(代)

東京 : 042-564-2381 埼玉 : 04-2968-0881 三郷 : 048-948-2112 神奈川 : 046-221-0620 ツクバ : 0296-43-1661

山梨 : 055-224-5278 群馬 : 027-230-3322 栃木 : 028-666-3399 茨城 : 029-241-3131 成田 : 0476-40-5811 茂原 : 0475-24-1613